

# 令和6年度 第1回富士宮市総合戦略有識者会議 議事録

日 時：令和6年7月17日（水）午前10時00分～午前11時45分

場 所：市役所7階特大会議室

出席者：

（委員）：鈴木清秀、伊藤洋子、田中正男、飯室憲一、藁科可奈、田中心也

（市）：企画部長、企画戦略課長、地域政策推進室長、企画調整係長、芦澤、市川、遠藤、広報課長、デジタル推進課長、観光課長、商工振興課長

次 第：

1 開会

2 挨拶

3 委員及び事務局紹介

4 議事

(1) 富士宮市デジタル田園都市構想総合戦略の推進状況について

(2) 令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金事業に係る事業評価について

(3) 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業について

※配付資料

【資料1】

富士宮市デジタル田園都市構想総合戦略進捗状況（令和5年度）

【資料2】

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金実施事業一覧表

【資料3】

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金及び企業版ふるさと納税事業一覧表

5 閉会

## 議事（１）富士宮市デジタル田園都市構想総合戦略の進捗状況について

### 【田中正男委員】

- ・観光面において、通過型観光客が多いと感じている。市内にはビジネスホテルはあるが、観光客が滞在できる豪華なホテルや旅館がない。道の駅と絡めてホテルを誘致し、若い人を確保、出産へつなぐと良い。市と一緒に進めていきたい。

### 〈観光課長〉

- ・令和５年度の宿泊者数 26 万人のうち、外国人が 3.1 万人、観光客も 532 万人のうち外国人が 5 万人。令和元年度の観光客数は 593 万人で外国人は 4.3 万人であり、インバウンドが増えている。外国人は宿泊する割合が高いため、そこをつかまえる施策が重要。民間の力も借りながらホテル誘致に取り組んでいきたい。

### 〈地域政策推進室長〉

- ・市内のビジネスホテルの稼働率は 100%に近い。シティホテルやリゾートホテルの誘致に取り組んでおり、魅力ある地域づくりを進めていく。

### 【田中心也委員】

- ・商店街の活性化について、令和５年度に新規出店した店舗数はどれほどか。

### 〈商工振興課長〉

- ・8 店舗あった。空き店舗が居宅や駐車場となるケースが多いが、毎年 5～6 店舗が補助金を利用して出店しており、静岡県内でも上位の結果が出ている。

### 【田中心也委員】

- ・商店街店舗も後継者不足問題が生じている。中心市街地に呼び込みながら同時に解決していくことが大事だと思う。

### 【藁科委員】

- ・茶園転換に関して、住宅等に転換してしまう人が増えているということは理解できるが、まちづくりとしてはいかなものかと思う。耕作放棄地も増えており、困っている人も多い。後継者として、週末のみ耕作したい人などうまくマッチングができればいいが、できていない状況。

### 〈企画戦略課長〉

- ・人口減少していく中で、農業に限らず担い手不足は問題であり、限られた人数でマッチングしていく仕組みは必要だと思う。

### 〈商工振興課長〉

- ・事業承継の全国プラットフォームが立ち上がり、需要も多いため、市としてもしっかりサポートしていきたい。

〈企画部長〉

・富士宮市域は全体の9割が市街化調整区域であり、土地利用に関して規制もあり厳しい状況にある。

現在、第6次総合計画を策定中だが、土地利用構想については、将来に向けた土地の有効活用につなげていけるよう国や県に対する規制緩和の要望をお願いしている。

【飯室委員】

・放置茶園の転換はぜひ進めてほしい。富士宮市はゼロカーボンシティの推進をしているが、放置竹林、森林の間伐材のバイオマス活用の検討をお願いしたい。産業となれば人を集められ、初期費用はかかるが将来に向けやってほしい。

〈企画戦略課長〉

・森林環境譲与税などの活用も視野に入れたい。

## 議事（2）令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金関連事業に係る事業評価について

【鈴木委員】

・富士宮市は工業のまちだと思う。商工会議所での創業相談も多いため、そのあたりに引き続き力を入れてほしい。

〈商工振興課長〉

・創業支援セミナーについては、参加者も多いため今後も商工会議所等と一緒に継続していきたい。

【伊藤委員】

・道の駅朝霧高原への観光客数、売上が伸びたことは、施設改修したなら当然のことで、いかにリピーターとして定着させていくかが重要。マスコミなどを使ってまた来たいと思える場にすることで、そこで働く人のモチベーション維持にもつながる。周辺にホテル建設計画もあり、チャンスととらえて、アクティビティなどにもつなげていければいいと思う。

・公開型地理情報システムの導入については、業務改善にとどまらず、実績につなげることが重要で、便利になったというだけではだめだと思う。期待している。

〈観光課長〉

・周辺施設等と連携を深めていくとともに、イベントを増やしていきたい。

〈地域政策推進室〉

・ホテル建設計画により、フードパーク等との連携がさらに深まると思う。令和8年度中に、富士山ナショナルサイクルルートの指定を目指し、道の駅朝霧高原がその拠点となる予定であり、さらに盛り上がる要素もあるため期待している。

〈デジタル推進課長〉

・公開型地理情報システムについて、市民サービスの向上につながっており、特に建設業からの評判がいい。

#### 【田中正男委員】

・LINEの登録者が増え、便利になってきた。市内事業者のクーポン配布も評判がよく、引き続き状況に合わせて改善をお願いしたい。居住地設定が進めば、市内者、市外者を使い分けた情報発信ができる。

#### 【飯室委員】

・LINEについて、もっと登録者を増やしてさらに便利にしてほしい。宮バス、宮タクでどう活用していくか見えない。デジタル化と言いながら、市から通帳のコピーを求められたりすることもあり、できることから変えていくことがよい。朝霧地域もいいが、芝川地域も自然豊かで魅力がある地域のため、芝川地域にも観光客の目がいくように力をいれてほしい。

#### 〈広報課長〉

・特に若い世代の登録が少なく、登録者の8割が40代以上。公共交通等との連携も検討し、最終的には、各世帯で1人は登録してもらおうようになったらと考えている。

#### 〈観光課長〉

・ユートリオのプール棟を解体し、キャンプ場の整備に向けて進めている。芝川地域についても、食、アクティビティなどを活用しながら観光誘客に力を入れていきたい。

#### 【藁科委員】

・LINEについては、個人情報に登録することへの不安がある人もいる。クーポンは効果があると思うが、クーポンで動かない市民をどう誘導していくか。自治会でもグループLINEを利用する団体が出てきている。市からの情報を容易に拡散、周知できる手法であるため、このような地道な活動も必要。

#### 〈広報課長〉

・LINEは、情報を探しに来なくても、市から届けられるため、重要なツールと考えている。個人情報の登録については、市内、県内の市外、県外というように選択肢を最低限にとどめている。災害時などには、同報無線の情報も届いたり、現在は、ごみの日を知らせる通知を検討している。

#### 【藁科委員】

・地域の防災訓練の際に呼びかけ、登録を促進してもいいと思う。

#### 【田中心也委員】

・SDGsパートナー交流会で連携した事業者が、i-HUBでイベントを実施した。今後もパートナーが増えるよう期待している。

### **※議事（2）について、各事業の評価を採決**

**⇒すべての事業について、『A:総合戦略の推進に有効だった』と評価をいただいた**

### **議事（3） 令和5年度デジタル田園都市構想交付金関連事業について**

#### 【藁科委員】

・市民文化会館に施設予約システムを導入するが、他の施設はどうか。

〈企画戦略課長〉

・文化会館はリニューアルオープンに合わせて、先行して導入する。他の施設についても、順次導入していきたいと考えている。

以上